

施策評価シート

評価年度	令和元年度	事業実施年度	平成30年度	施策主管次長名	子育て健康部次長 加藤 清二	
施策番号	68	施策名	安心して子どもを産み、育てられるまち		総合計画掲載頁	108
関係課名	子育て支援課、教育行政課、健康推進課					

1. 施策の概要

施策の目的	対 象	対象指標名		単位	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
		市民、保護者 (児童とその家族)	就学前の児童を持つ世帯数	世帯	2,845	2,803	2,801	2,745	-
			就学前の児童数	人	3,700	3,678	3,644	3,608	-
			小学校児童を持つ世帯数	世帯	3,028	3,280	3,028	3,227	-
			小学校の児童数	人	3,938	3,997	3,929	3,840	-
意 図	安心して子育てをしてもらう	成果指標名	放課後児童クラブの待機児童数						
			保育園の待機児童数						
			子育てに関する相談件数						
			家庭教育学級の参加者数						

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	放課後児童クラブの待機児童数	人	45	42	20	40	20	-
	指標設定の考え方と把握方法	利用者の入所希望に達成しているかとして設定し、利用申込み者数にて把握						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	保育園の待機児童数	人	12	12	22	21	25	-
	指標設定の考え方と把握方法	利用者の入園希望に達成しているかとして設定し、入園申込み者数にて把握						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	子育てに関する相談件数	件	700	735	700	682	700	-
	指標設定の考え方と把握方法	悩み等が相談により解消されたかとして設定し、相談記録簿にて把握						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	家庭教育学級の参加者数	人	1,200	953	1,200	648	1,200	-
	指標設定の考え方と把握方法	家庭教育の関心度・必要性を高めるためとして設定し、参加者数にて把握						

3. 施策の評価

項目		評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	子育てに関する不安や悩みを解消し、健全な子育てに努める。				
	行政	・放課後児童クラブや保育園等で家庭で保育することができない児童を対象に子育て支援を行う。 ・子育てに関する相談、学習機会の提供などの子育て支援事業を推進する。				
達成度評価	近隣との比較	・放課後児童クラブの待機児童数(H30年5月1日現在)は、豊田市0人、刈谷市17人、日進市23人、東郷町47人であった。 ・保育園の待機児童数(H30年4月1日現在)は、豊田市0人、刈谷市8人、日進市31人、東郷町0人で、地域や人口との関連は少ない。 ・子育て相談件数は、刈谷市130件、日進市964件、みよし市682件で、地域により差がある。(豊田市、東郷町は未集計)				
	過去3年間の実績との比較	・放課後児童クラブの待機児童数は、H27年度33人、H28年度32人で、H29年度3校の2クラス化により定員を増やしたが、前年度より10人増の42人、H30年度40人と定員増を上回る需要があった。 ・保育園の待機児童数はH27年度まで無かったが、3歳未満児の入所要件(勤務時間)が緩和されたH28年度は37人、H29年度は12人、H30年度は21人が発生している。 ・子育てに関する相談件数は、H27年度745件、H28年度663件、H29年度735件、H30年度682件と、700件前後で推移している。 ・家庭教育学級の参加者数は、H27年度1,291人、H28年度は1,904人、H29年度は953人、H30年度は648人と近年減少している。				
現状と課題		・放課後児童クラブの利用ニーズが増加し、待機児童が増加傾向にある上、対象学年を6年生までに拡大する計画であることから、さらに放課後児童クラブの利用増加が見込まれる。 ・保育園において、3歳児以上で待機児童はいないが、3歳未満児の入所要件の緩和、女性の社会進出の増加、育休制度等の充実に伴う職場復帰により、家庭で保育することができない児童、特に0歳から2歳児の増加が見込まれる。				
課題を踏まえた今後の取組の方向性		・放課後児童クラブは、全ての小学校区で2教室化し定員数の増加を図り、対象学年も6年生までに拡大する。また、運営の効率化と指導員の安定的確保のため、運営を民間事業者に委託する。 ・核家族化に対応し女性が子育てしながら働きやすい環境を確保し、多様化する子育てニーズに対応するため、小規模保育事業所の公募をはじめ、保育園の運営、3歳未満児の充実、病児・病後児保育事業等の充実を図る。 放課後児童クラブは、平成30年度に一部で2教室化(天王・三好丘・緑丘)及び民間への運営委託(北部・天王・三好丘・緑丘)を実施しており、平成31年度は、残る中部、南部、三吉、黒笹で同様に2教室化と民間委託による運営を実施する。 また、子育て支援の拠点施設として開設している「子育て総合支援センター」をはじめ、相談業務等の充実を図る。				
市民意識	重要度	高い	満足度	高い	平成30年度市民アンケート調査による	